

# おおいた 法の海

第 50 号

発行所

浄土真宗本願寺派

大分教区基幹運動推進委員会

〒874-0920 別府市北浜3丁目6-36

本願寺別府別院内

T E L 0977 - 22 - 0146

F A X 0977 - 24 - 7831



本願寺御影堂平成大修復完成慶讃法要 (ご本山)

## いのち

新緑の楠の木の下で園児たちが何やら集まって騒いでいる。ふと見ると、虫の大好きなひろし君が座って両手を広げていた。その手には死んだ二匹のだんご虫がのっていた。よほど悲しかったのでしよう、ひろし君の両目には涙がいっぱい溜まっています。彼の生きもの好きは園では有名です。登園するとすぐ庭に出て、葉っぱの間や、木の中を掻き分けて虫を探すのです。虫たちの命と子どもたちの命が響きあうのでしょうか。子どもたちの傍にいつもこのような瞬間を味わうことができます。

昨春秋、「ブタがいた教室」という映画が公開されました。育てた上で食べるという約束で豚を飼ったクラスの物語です。三年間豚を飼った子供たちは、卒業を前に「さすがに自分たちでさばくことは出来ない」と思った。「殺さずに下級生に託して飼育を続けてもらう」「飼い始めたのだから自分たちではじめを。食肉センターへ送ってさばいてもらおう」子供たちの考えは割れ、命について真剣に議論したとあります。

あらゆるものの生命を頂いて、おかげさまで生かされているから生命は重たいのです。生命の尊重をこのように教えて下さるのが仏さまです。阿弥陀さまはこの私の生命の上に「必ず救うぞ、念仏申してくれよ」との無限の願いをかけられて「南無阿弥陀仏」の声となり、力となって、いつでもどこでも、この私にはたらいてくださっています。

この阿弥陀さまに私のいのちをおまかせして、安らかな日暮らしをさせていただきましょう。

(大野組尊形寺住職 流 宗哲)

某月某日、某寺にて。

A子 御院家さん、こんにちは。新しいお仏壇が明日届くそうなので、入仏式をお勤めしていただきたいのですが。

住職 はい、良いですよ。ご本山から、ちゃんとご本尊も届いています。ちょっと見て行かれますか。

A子 こんな風に、包装されて送られて来るのですね。

住職 京都までお供をしに行かなければならないところですが、もったいないことです。

A子 ご本尊の裏に字が書いてありますね。

住職 「方便法身尊形」とお裏書きされています。

### 「ウソも方便」

A子 「方便」というと、ウソとかニセ物というイメージがありますか。

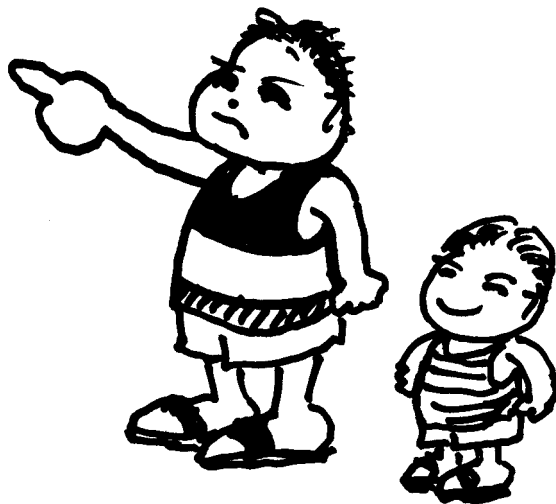
住職 「方便」は「近づくとか」「到達する」という意味のインドの言葉の漢訳語です。仏教では、真実に到らせるために仮

に設けた法門のことを「權方便」と言ったり、仏さまが衆生をさとりに導くために、衆生の素質や能力に応じて教化することを「善巧方便」と言ったりします。

A子 「ウソも方便」という言葉のイメージが強すぎて、方便

## ペンペン草の境内地

### ②4ご本尊



といえばウソという感じがしてしまつて……。

住職 その「ウソも方便」という言葉も、相のない真実が相を示すことを「有相方便」と言つたものが訛つたものという説もあるぐらいです。

いろいろ説はありますが、要

するに、「方便」の「方」は「まっすぐに」、「便」は「速やかに」というほどの意味に受け止めてもらえば良いと思います。A子 なるほど。ウソというよりは、真実への近道という感じですね。それで「方便法身尊形」というのはどういう意味ですか。

### 「方便法身尊形」

住職 本来のご本尊は、仏のはたらきそのものですから、色や形で示すことはできません。しかしながら、凡夫の私たちは仏

のはたらきを直接感じる事ができないので、目で見て仏のは

たらきを感じられるように、仮に示されたご本尊をご安置するのです。

A子 いわゆる偶像崇拜になるのではないですか。

住職 偶像崇拜というのは、偶像そのものを大事にしますが、浄土真宗はそつではありません。ご本尊を通して、その向こうに

ある仏のはたらきそのものを感じていく手立てとして、「ご本尊を」ご安置させていただくのです。

昔のお坊さんは、月の在処を指で指し示す様子に譬えられました。

A子 どういうことでしょうか。

住職 月を示す時に「月があるよ」と言葉だけでは伝えられなくても、指で指し示すことによつて月の在り場所を教えることができますね。その時に指し示すのは指だけれども、示したいものはその先にある月ですね。指

によつて月を示すように、ご本尊のお姿を通して、仏のはたらきそのものを伝えようとしているのです。

同時に、指だけを見て月を見ないということでは困ると戒められたのです。

## 揭示伝道

### 簡易法語揭示板

【白佐組 光蓮寺】



光蓮寺は、白杵の幹線道沿いにあり、車の往来もはげしく観光客も多く、揭示板に貼つてある言葉の意味を尋ねて来られることもあり、だれが見てもわかり易い言葉を選んでいくのとです。

法語力レンダーやほのぼの力レンダー、また宗門の機関誌の中の言葉を拡大コピーしたり、新聞や他の寺院の揭示板の言葉の引用等々。

何よりも、地域社会との関連を、模索中であるというところで



# 親鸞聖人の御言葉を聞く

中津組 昭雲寺 松嶋 智 謙



「御消息集」二五通  
大遠忌に併せて「安穩」とい  
う御言葉がスローガンとして選  
ばれましたが、その出拠がこの  
ご消息の一段です。

間もなく宗門は、御開山親鸞

聖人七五〇回大遠忌をお迎えい  
たします。そこで、今号から

「親鸞聖人の御言葉を聞く」と  
題しまして、『未灯紗』御消息

集 所収のお手紙の中から、幾  
つかの御言葉を頂戴することに  
致します。

「往生を不定におぼしめさん  
ひとは、まづわが身の往生をお  
ぼしめして、御念佛さぶらふべ  
し。わが身の往生一定とおぼし  
めさんひとは、佛の御恩をおぼ  
しめさんに、御報恩のために御  
念佛ころにいられてまぶして、  
世のなか安穩なれ、佛法ひろま  
れとおぼしめすべしとぞ、おぼ  
えさぶらふ。よくよく御案さぶ

人はなんのために生まれ、そ  
して何処へ向かっていくのか。

私自身の生死の大問題です。と

ころが、この大問題を棚に上げ  
て平気な顔をして暮らしている  
のが私なのかも知れません。そ

れどころか、不確か滅び行く  
ものばかりにすぎりつき、確か  
なるものを全く持たぬまま生き

ているとするならば、何歳まで  
生きたとしても、どんなに人か  
ら立派だと言われた人生である

うと、遂には不確かなまま孤独  
の中に滅び行くだけの人生にな  
ります。

生きるということを自分に問  
うとき、死を問わずして生を問  
うことは出来ません。「死んだ

らオシマイ」という考え方は、

実は生きることそのものをも否  
定することです。住職として葬  
儀にお参りいたしますと、時と  
して「あの世」「天国」「草葉の  
陰」と様々な言葉を死者の行く  
先として決めつける弔辞や弔電  
の文言に出会います。果たして、  
言葉をお使いになつた方々は、  
何を以てそうした死後の世界を  
定めているのでしょうか？もしそ  
れが、各々の知識や推量や勘み  
たいなもの、或いはテレビや雑  
誌で見掛けたからというような  
事を以て斯様な言葉を使ってい  
るならば、そうした世界も結局  
は不確か滅び行く世界に過ぎ  
ません。そのような世界からは、  
私の生死という問いの本当の答  
は、決して出てくることはありません。

身が何処へ向かっているのかさ  
え判らないというお孫さんの姿  
でしょう。それは私の姿なのか  
もしれません。私は、お孫さん  
のいじらしい姿を見ながら「ま  
づわが身の往生をおぼしめして、  
念仏さぶらふべし(先ず、自分  
自身の往生を聞き開き、お念仏  
申しなさい)」と、ご消息で仰  
られた親鸞聖人の御言葉が頭  
の中に浮かびました。全てを失  
全てと別れ逝かねばならない事  
こそ、人生最大の苦しみ悲しみ  
であり、これこそ当に私の生死  
の大問題です。

様と一緒に、間違いのない世界  
に参らせていただく往生浄土の  
道こそが、我が身が阿弥陀様か  
ら賜った「いのち」の意味と聞  
き開きお念仏申す者を「わが身  
の往生一定とおぼしめさん」と  
いうのです。

阿弥陀様は、無明煩惱に苛ま

れ苦しみ悲しみばかりの私の人  
生に、往生浄土という道を与え  
てくださいました。私の悲しみ

苦しみを引き受けになり、涙々  
の中に建立された私のためのお  
浄土に参らせていただく道です。

しかもその道は、私が孤独に参  
る道ではありません。阿弥陀様  
が私のいのちに満ち足りてくだ

さり、ただいまの我が身のまま  
を引き受けて「我に任せよ、そ  
のまま来いよ」と同伴で参つて

下さる道です。間違いのない仏

先ず私自身が念仏者とならせて  
いただく事が大事なのです。

## 松嶋智謙氏プロフィール

昭和44年生まれ  
大分教区 中津組

昭雲寺 住職  
本願寺派 布教使

本願寺派 輔教



# 法 話

## 『孤独のいのちの中に』

岡組 蓮光寺 和 田 新 吾



人間は、初めから一人であれば孤独感を生まれないのでは？

うが、家庭を持ち、社会の中の一員として生活してきたものが、

突然その枠から外されると言い

あらわせない孤独感を味わうもの

です。例えば、入院して病床

で横たわっている時、健康な時

の一家団欒の様子を思い浮かべ

ると、やり切れない淋しさを味

わい、また、年老いて長い間連

れ添った伴侶と別れたり、愛す

る子どもに先立たれて、この悲

しさが誰にも分かってもらえな

いという思いが強く、自らの想

いが相手に届かないと感じた時に孤独はより深まるものです。

『仏説無量寿経』巻下に、

人、世間愛欲のなかにあり

て 独り生れ独り死し、独

り去り独り来る 行に当り

て苦楽の地に至り趣く 身

みづからこれを当くるに

代るものあることなし

と説かれています。

人間の命は、本来どこまで行っ

ても独りであると同時に、誰も

代わってはくれない命なのです。

たとえ親子といえども代わるこ

とのできない命なのです。代わ

ることのできない命だからこそ、阿弥陀さまはこの私に、「ここにいるよ。ひとりじゃないよ。」と喚び続け、ピタリと寄り添ってくださるのです。

お念仏をよるこばれた、木村無相さんの詩の中に、

だあれもないひとりのとき、おねんぶつさまがこうささやく

ひとりじゃないんだよひとりじゃ。

本来ひとりの私が、孤独の中に悲しみの中にふるえている時

共に泣いて下さる方がいたと知らされたとき、その苦しみ悲しみはそのまま終ってはいかない。

いかに孤独の中にあっても、大悲の如来様にいつも喚びさまされて、大きな慈悲に抱かれて

いることを忘れず、共に泣いて下さるみ仏さまと歩ませていただく命であったと慶ばさせて

いただきます。 合掌

### あとがき

豚インフルエンザに端を発する、新型インフルエンザが世界的に流行し、日本でも関西を中心に多数の感染者が発生したことは、皆さんもよくご存じのことでしょう。TVなどで連日のように報道され、街ではマスクをつけた人々が映し出され、空港では検疫の様子が伝えられました。

私事ですが、1月に季節性のインフルエンザに罹患し、大変苦しい思いをしました。完治するまでやはり1週間以上を要しました。痛感したことは、「他人にうつさないこと」がいかに大切か、ということでした。どうしても咳が留めなく出てきます。とつとつ着病してくれた坊主に感謝させてしまい、坊守はリレンザの世話になる羽目...

いるんな場所に赴くと、辺り構わず咳をしている人がとても気になるようになりました。最近「咳エチケット」という単語を時々目にしますが、インフルエンザにしても普通の風邪にしても、自分の発した一発の咳で周囲の人を病気に陥れてしまうことがある、ということをお忘れ

てはいけないと思います。私達はともすれば、自分の事

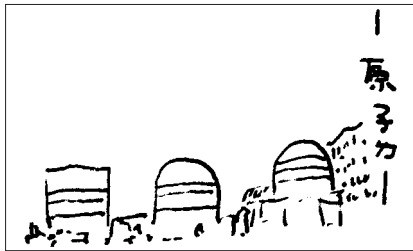
### ご案内

このたび、大谷光淳新門様が9月28日に大分教区ご巡回並びに別府別院ご巡回翌29日に四日市別院ご巡回をされます。

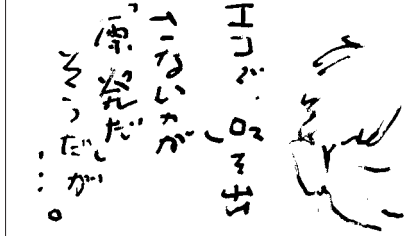
新門様は大遠忌お待ち受けの機運の高揚とご法要の円成を期して、教区ご巡回並びに直属寺院ご巡拝をされています。2008年11月6日の山科別院ご巡拝を第1回目とし、2010年3月まで59カ所ご巡回並びにご巡拝をされます。

帰敬式はじめ記念式典などの行事が予定されています。詳細は教務所または各所属寺院にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

# みらいちゃん



「原さか」  
田園風景  
スガノ島  
佐田岬  
伊予原さか  
スガノ島



50基ある  
原さか  
スガノ島  
伊予原さか  
スガノ島